

事務事業名	花苗配布事業（花いっぱいまちづくり事業）	整理番号	32205-020
所管	市街地整備課 公園緑地スタッフ		

●事務事業の位置付け

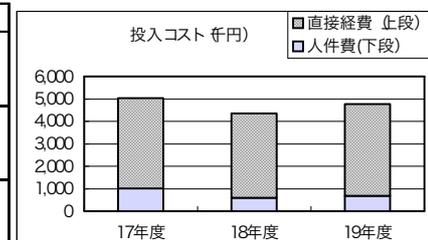
期間	昭和 63年度 ～ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 3-2 ゆとりと潤いのある市街地整備の推進	関連政策 3-2-1 居住環境の整備・向上	
	政策 3-2-2 公園・緑地の整備	政策 3-2-3 良好な景観・街並みの整備	

●事務事業の内容

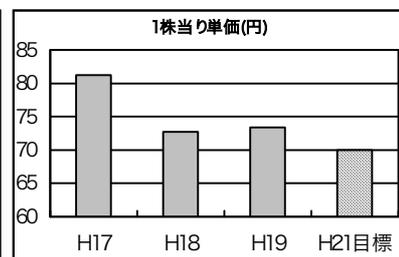
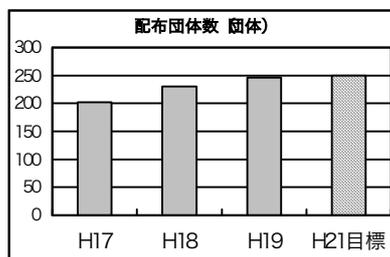
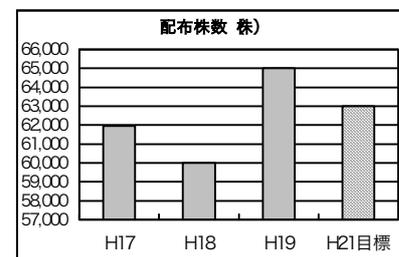
目的 (何のために)	花と緑のあふれる安らぎと潤いの街づくり
対象 (誰・何を)	市内全般・市内の保育園、幼稚園、小中学校などの公共的機関や各区、花の会など。
手段 (どのようなやり方で)	学校や各区コミセン・道路又は河川沿いなどにある「花壇」・「緑地帯」に植栽するため花苗を配布し、花いっぱいの街を作る。
成果 (どのような状態にしたいか)	市民に「安らぎと快適な生活環境」を提供するとともに、街に表情を作る。市民に緑に親しむ心、郷土愛を芽生えさせたい。
事務事業の背景・住民の意向	種から育てれば非常に安価に出来るが、上手く苗に仕立てるまでの手間や場所・技術などが無く失敗が多いので、苗から育てることを希望している。
見直し改善の経過	

●事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績
平成17年度	花苗配布数61,950株、配布団体数202団体
平成18年度	花苗配布数60,000株、配布団体数230団体
平成19年度	花苗配布数65,000株、配布団体数246団体



●評価指標



●事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)			コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	★★★★★	費用対効果の面からも有効である。	継続
	有効性	★★★★★		
	効率性	★★★★★		
一次評価	B	★★★★★		継続
二次評価(行政評価委員会の評価)			コメント	今後の方向性
二次評価	B	☆☆☆☆	更に効果的な事業方式を検討されたい。	継続

●改革プラン

平成20年度からの対応	少数の栽培受託業者に対しては花色指定数を種販売ロット数に合わせるにより、あるいは花色を単色指定などにより、原価節減につながり苗単価の上昇を抑えることが出来ると思われ、これを検討し次年度以降に反映したい。
平成21年度以降の対応	春配布のマリーゴールドと秋配布のパンジー及びビオラは、少数の栽培受託業者に対しては花色指定数を種販売ロット数に合わせることなどにより、原価節減になるので苗単価の上昇を抑えることが出来る。
改革により予想される成果	原価節減により予算の増額をせずに株数の確保ができる。